

松支図書館だより3月号

平成30年3月1日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

平昌オリンピック、熱い戦いが終わりましたね。選手のみなさんそれぞれが、高い目標に向かって一生懸命競技に取り組む姿に、思わず目頭が熱くなった人もいるのではないのでしょうか？

一生懸命ってやっぱり格好いい！応援したくなりますよね。

卒業を迎えるみなさん、卒業おめでとう！

頑張るみなさんを、これからも全力で応援していますよ！



H29年度図書貸出状況

今年度（H29. 4. 1～H30. 1. 31）の児童・生徒図書貸出総数は**2,901冊**

生徒一人あたり、**32.2冊**の本を借りたという結果になりました。



この表は、0冊の人は何名、1～20冊の人は何名・・・というように、横にみていきます

○個人別貸出冊数内訳					
	小	中	高等部・普通	高等部・専門	計
0冊	0	0	2	0	2
1～20冊	2	2	6	32	42
21～40冊	7	4	5	8	24
41～60冊	2	0	2	6	10
61～80冊	3	0	1	1	5
81～100冊	0	0	1	1	2
101～120冊	0	0	0	1	1
121～140冊	2	0	0	0	2
141以上	0	0	0	2	2

残念ながら、1冊も本を借りることが出来なかった人も居ましたが、100冊を超える本を借りた人が5名いました！

私は何冊だったのかな・・・と気になりますか？

詳しくは、生徒総会時に文化図書委員からランキング等の発表があります。

さあ、だれがいちばん多く借りたのでしょうか？お楽しみに♪♪

春休みに読む本を

準備しましょう



春休みの図書館利用について

春休み期間は、館内の整理作業やデータベース更新作業など

のため、図書館は閉館します。

また新学期がスタートしてから、

たくさんの利用をお待ちしています！



3月12日(月)～長期貸出スタート！返却日は4月9日(月)始業式



まず、私は子供の頃から成人するまで、小説を読んだ記憶がありません。漫画はよく読んでいましたが、小説などの文章のみの本は全く読んでいませんでした。小説に興味もなく、手に取った事はありますが、すぐに飽きていました。もちろん、小説を読んだ方が良いというのは、私自身も感じていましたが、どうしても読もうという感情が一切わきませんでした。しかし、あるテレビ番組を見たときに読むきっかけが生まれました。それは、2013年の冬、「奇跡体験 アンビリバボー」で紹介された一人のミュージシャンと一匹の野良猫の物語でした。

この小説は、「ボブという名のストリートキャット」という作品で、「ボブという名の猫 幸せのハイタッチ」というタイトルで映画化されたものです。この小説は、ロンドンでプロのミュージシャンを目指すが夢破れ、家族にも見放されてホームレスとなった青年ジェームズ。人生に目的も目標も持てないまま、いつまでも薬物中毒から抜け出せずにいた彼の前に現れた、1匹の野良猫ボブ。彼らは支え合い、困難を一つ一つ乗り越え、やがて〃1人と1匹〃の人生が大きく変わっていく実際にあったお話しです。私の中で、読むきっかけとなった一冊だったので印象的な本でした。この本をきっかけにたくさんではありませんが、読む機会が増えていきました。私が読んだ中で引き込まれたのが、「海賊とよばれた男」です。有名な本なので、知っている人も多いと思います。戦争後の不景気の中で、奮闘する1人の男の物語で、この小説も実際にあったお話しです。胸が熱くなり、奮い立たせてくれる小説ですので、是非読んで欲しいと思います。

本を読む機会がなかったり、興味がなかったりする人も、映画やテレビで映像から見て、面白いと思ったら、その本を積極的に読んで欲しいと思います。小説に限らず、絵本や漫画でも良いので、本に興味を持つことから始めて欲しいです。そして、自分が面白いと思った本を紹介したり、されたりする事で、本に接する事がなかった友達も読む機会が出来ると思います。本を読むことで、必ず自分に良い影響を与えるものがあると思います。みなさんも是非興味を持つことから始め、色々な本を読んでください!!

